



松橋 淳郎 議員 《さま大志会》

相武台前駅周辺道路の環境整備について

小田急線相武台前駅は、市内で最も重要な交通軸となる地域拠点となっています。

駅周辺の環境整備は、座間市の都市計画の基本的な方針を定める座間市都市マスタープランに基づき整備が行われてきましたが、いまだに安全対策が行き届かない箇所が存在しています。

相武台前駅の北口と南口を結ぶ相武台前1号踏切から相武台南口3号踏切までは、現在、交通量が多い狭隘な幹線道路ですが、歩道確保に向けた地権者との用地取得交渉の進捗状況について伺います。

また、市道5号線は昭和31年に都市計画道路緑ヶ丘林間

線として決定されていますが、今後どのような整備計画があるのか伺います。

都市部長 小田急線相武台前1号踏切から相武台前駅南口までの約130メートルは、地権者に継続して粘り強く用地協力をお願いをし、平成26年度に用地協力への前向きな回答をいただいています。用地取得が整った箇所から、歩道設置等の道路改良工事を行っています。

平成27年度は、小田急線相武台前駅南口付近の市道5号線と市道15号線との交差点部分の改良を行い、歩行者や交通弱者の安全を確保していきます。



加藤 陽子 議員 《神奈川ネット》

カット野菜ではなく学校給食としての食材の使用を！

9月から試行で開始した委託調理のランチボックス型の中学校給食は、委託調理業者にスペースがないことから使われている野菜は全てカット野菜であることが判明しました。カット野菜には、殺菌剤として次亜塩素酸ナトリウムが使用されており、予防原則に立つ学校給食の観点からは問題であり、自校調理方式では扱わないカット野菜は使用すべきではないと考えます。

カット野菜製造事業者が本市の学校給食納入業者者に選定された業者選定委員会での議論について、また、カット野菜を使わない場合、調理委託費や保護者の負担金は変

わるのか伺います。カット野菜ではなく、学校給食としてあるべき食材を使用するよう、同調理業者に委託している海老名市、相模原市、藤沢市と連携して、調理施設、設備の改善を働きかける必要があると考えますが所見を伺います。

教育長 市栄養士・市職員が事業所の視察を行い、業者選定委員会に概要等の説明をしましたが、特に異論はありませんでした。カット野菜の使用は委託業者の判断ですが、委託金と保護者の負担金は変わりません。施設の改善については難しいものと考えますが、他市と連携して研究していきたいと考えています。



小野 たづ子 議員 《公明党》

座間市の介護予防体操の早期導入を

介護予防体操について、以前の一般質問で、体操を通じて元気になった高齢者が教える側に回ることを取り組みの輪が広がっている茨城県のシールバーリハビリ体操を紹介し、導入を提案しました。

近年、全国の各自治体では独自の介護予防体操への取り組みが進展しています。介護予防体操は早期に取り組みむほど認知症予防や介護予防の良い結果につながっています。

市民の方からも介護予防体操を作り、DVDの作製など普及、推進に取り組んで欲しいとの要望もあります。高齢者が元気に生活し暮らせることが、家庭においても、

本市にとっても元気の源となります。健康寿命増進のためにも早期の取り組み、推進体制の確立を図ることが肝要と考えます。本市でも、簡単で誰でも手軽にできる効果的な介護予防体操がぜひとも必要と考えますが、介護予防体操の導入について伺います。

健康部長 介護予防体操は、指導者がいなくても介護予防に役立つ運動ができ、地域で自主的に介護予防活動の活性化が期待できることから、導入に向け調査研究していると

ところで、平成28年度に専門家による検討委員会を立ち上げ、年度内に体操をつくることを検討しています。



竹田 陽介 議員 《新政いさま》

イオンモール開業に向け着々と進む周辺道路の整備

南東部地区総合交通対策事業で取り進む市道38号線、小松原交差点の改良などは、平成28年秋以降に予定しているイオンモールの開業とともに、周辺住民の方にとって関心の高い事項です。現時点での進捗状況について伺います。

都市部長 市道38号線は、交通管理者との協議が終了し、車両の交互通行確保のため、用地協力いただいた箇所付近での道路改良工事を行っています。市道11号線との交差点への信号機設置も含めた協議が調っており、周辺道路改良工事が進んだ時点で信号機の設置を考えています。用地取得は、事業に係る全地権

者22名に協力をお願いをし、12名から内諾を得ています。今後は用地取得できた箇所から改良工事を行っていきます。小松原交差点改良事業では、平成26年度に基本設計を行い、道路交通管理者や県道管理者、地権者などに事業内容を説明し、一定の理解を得ています。道路交通管理者である所轄警察とは内容についてある程度



長谷川 光 議員 《新政いさま》

義務教育学区制について

義務教育学区制は、学区を設けて学校を設置し、その学区内の児童・生徒を決まった学校に通学させる制度と理解していますが、学区をどのような基準で定めているのか伺います。

また、例えば地域コミュニティの観点から四ツ谷地区を全て入谷小学校の学区とするなどの方法は考えられないのか伺います。

教育長 学校教育法施行令第5条第2項では、市町村の教育委員会は、設置する小学校又は中学校が2校以上ある場合においては、就学予定者の就学すべき小学校又は中学校を指定しなければならない

こととなっています。本市では、座間市立学校通学区域規則を定めて学区を制定しています。

入谷小学校の学校規模は普通級15クラス、特別支援級3クラスで、学校規模の標準である12学級以上18学級以下の中にありますので、特に問題はないと考えています。

現時点で学区を再編することは考えていませんが、今後の児童数の増減を注視して、問題が生じるようであれば学区の再編も含め、検討が必要となると考えます。その際には、地域コミュニティについても十分に検討することが重要であるとと考えています。



守谷 浩一 議員 《日本共産党》

市道38号線沿いの広野台2丁目緑地にベンチ設置を

市道38号線の道路拡幅工事と、市道38号線と市道栗原26号線との交差点から38号線に沿って北に広がる緑地帯について伺います。乗馬クラブの北側にある公園や廃棄物関係会社の前の緑地帯で、公園緑政課が所管する「広野台2丁目緑地」と呼ばれています。

相武台前駅周辺や広野台地区から来てのあたりを散歩される方々からは、「ちょうど散歩して帰ってくる中間地点となるので、この緑地帯にベンチをぜひ設置してほしい」と望まれています。今後、市道38号線を9メートルに拡幅することが予定されており「広野台2丁目緑地」の一部が

かるというところで、まだベンチは設置されていない状況です。そこで、市道38号線の整備により「広野台2丁目緑地」の一部がどのように削られてしまうのか、また、市道38号線沿いの「広野台2丁目緑地」にベンチがどのように設置されるのか伺います。

都市部長 広野台2丁目の緑地帯については、1290・55平方メートルのうち約221平方メートルを道路用地として活用し、道路改良工事にあわせ、残った緑地部分に市民の休憩場所となり防災の機能を兼ね備えたベンチを設置したいと考えています。

陳情の結果

12月定例会の各委員会審査した陳情は、次のとおり決まりました。

◎ 採択

陳情第42号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

陳情第44号 安全・安心の医療介護の実現と夜勤改善・大幅増員について国への意見書提出を求める陳情

陳情第48号 沖縄県の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

◎ 不採択

陳情第46号 国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第47号 神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第49号 地方自治の堅持・尊重についての陳情

◎ 継続審査

陳情第22号 子宮頸がん検診対策の充実を促進し、HPV予防ワクチンを接種した子供たちへの調査を求める陳情

陳情第23号 子宮頸がんワクチン事業の一時中止を求め、早急な調査を開始する意見書を国に提出することを要望する陳情

陳情第35号 座間市議会議員定数削減についての陳情

陳情第41号 民意を狭めチェック機能を弱める議員定数削減に反対し、より充実した議会活動を求める陳情

陳情第45号 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める意見書提出を求める陳情